

# 東北地方 1か月予報

( 12月21日から1月20日までの天候見通し )

平成14年12月20日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

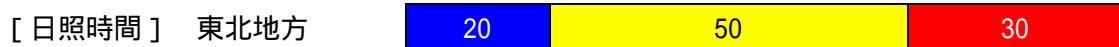
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置となる日が多いですが、2週目を中心に冬型が緩む時期があるでしょう。  
東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並の見込みです。

週別の気温は、1週目は低く、2週目、3~4週目は共に平年並か低いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)     平年並     高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い     平年並     高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 12月21日(土) ~ 1月20日(月)

1週目 : 12月21日(土) ~ 12月27日(金)

2週目 : 12月28日(土) ~ 1月3日(金)

3~4週目 : 1月4日(土) ~ 1月17日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週金曜日14時30分 次回は12月27日

3か月予報 : 12月24日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間, 降雪量と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	1.6	42.4	145.0	3	2.5	2.0	1.1
新庄	-0.6	192.0	40.3	-----	0.4	-0.2	-1.1
若松	0.0	83.7	74.7	122	1.0	0.4	-0.4
深浦	0.6	104.8	32.0	62	1.6	1.1	0.1
青森	-0.6	143.4	54.2	234	0.3	-0.2	-1.0
むつ	-0.7	91.7	73.6	-----	0.3	-0.2	-1.1
八戸	-0.3	45.2	129.9	31	0.7	0.1	-0.8
秋田	0.8	130.1	45.0	80	1.8	1.2	0.3
盛岡	-1.2	53.8	116.4	62	-0.2	-0.8	-1.8
宮古	1.1	46.3	156.1	11	2.1	1.6	0.6
酒田	2.3	167.1	40.4	61	3.4	2.9	1.8
山形	0.3	79.2	87.1	101	1.4	0.8	-0.2
仙台	2.3	34.0	147.9	22	3.4	2.7	1.8
石巻	1.4	34.3	161.4	0	2.4	1.8	0.9
福島	2.2	43.5	132.0	35	3.2	2.6	1.7
白河	0.9	30.8	157.0	-----	1.8	1.3	0.5
小名浜	4.3	44.0	185.8	0	5.2	4.7	3.9

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.2~+0.7	74~ 97	98~ 105	70~ 103
東北日本海側	-0.2~+0.6	91~ 106	95~ 109	77~ 116
東北太平洋側	-0.2~+0.7	58~ 98	96~ 105	58~ 93

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.8	-0.4~+0.8	-0.5~+0.7
東北日本海側	-0.6~+0.7	-0.4~+0.8	-0.5~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.4~+0.9	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成14年12月20日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(12月21日～1月20日)：

冬型の気圧配置となる日が多いですが、2週目を中心に冬型が緩む時期があるでしょう。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

1週目(12月21日～12月27日)：

期間の初めは高気圧に覆われて晴れる所が多いでしょう。期間の中頃は気圧の谷が通過し天気が崩れ、通過後は冬型の気圧配置となる見込みです。東北日本海側では雪の降る日が多く、東北太平洋側ではおおむね晴れるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2週目(12月28日～1月3日)：

冬型の気圧配置が緩む時期があるでしょう。東北日本海側は曇りの日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4週目(1月4日～1月17日)：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

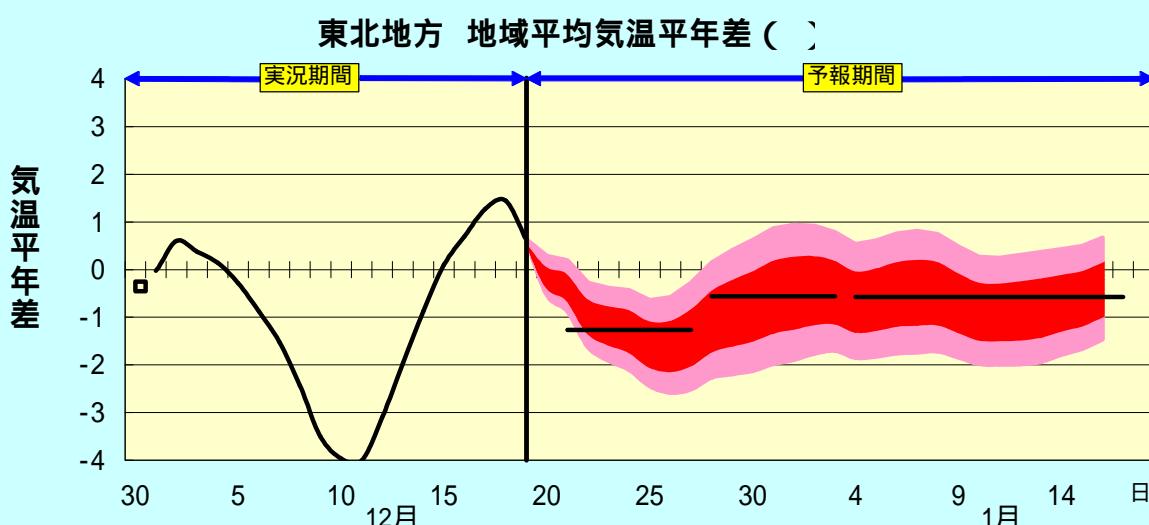
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	4.7日	1.2日	1.3日	2.2日
東北太平洋側	17.4日	4.2日	4.4日	8.8日

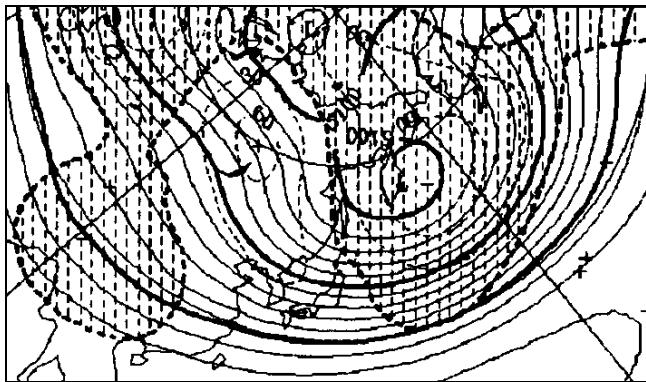
## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、各週とも「低い」を予測している。予報は、2週目と3～4週目を「平年並か低い」とし、1週目は数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



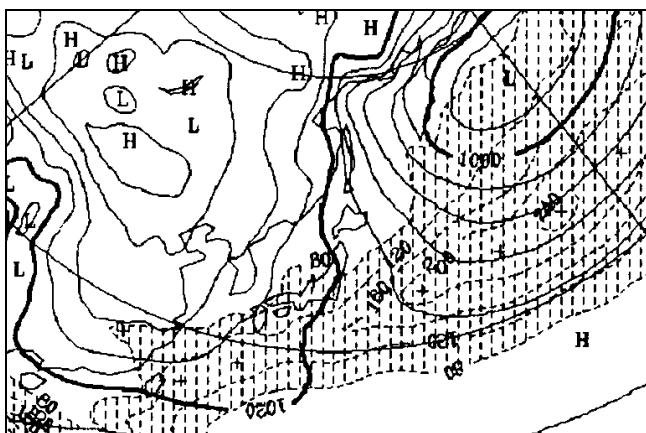
月平均の 500hPa 高度・偏差

等高度線 : 60m 每、偏差 : 30m 每、陰影部 : 負偏差

#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、本州以西の地域はバイカル湖付近に中心を持つ正偏差に覆われるが、北海道の一部と日本の東海上はカムチャツカ半島付近に中心を持つ負偏差に覆われ、東北地方では寒気の影響を受ける時期がある見込み。

週別（図略）では、月平均と比べ 2 週目は西からの正偏差が北海道まで広がり、3 ~ 4 週目は東からの負偏差が東日本のおよそまで広がる予想。



月平均の地上気圧と降水量

等圧線 : 4hPa 每、降水量 : 40mm 每、陰影部 : 80mm 以上

#### 地上気圧と降水量

月平均で見ると、アリューシャン列島付近には低気圧があり、中国大陸には高気圧があって、北日本を中心に冬型の気圧配置となっている。

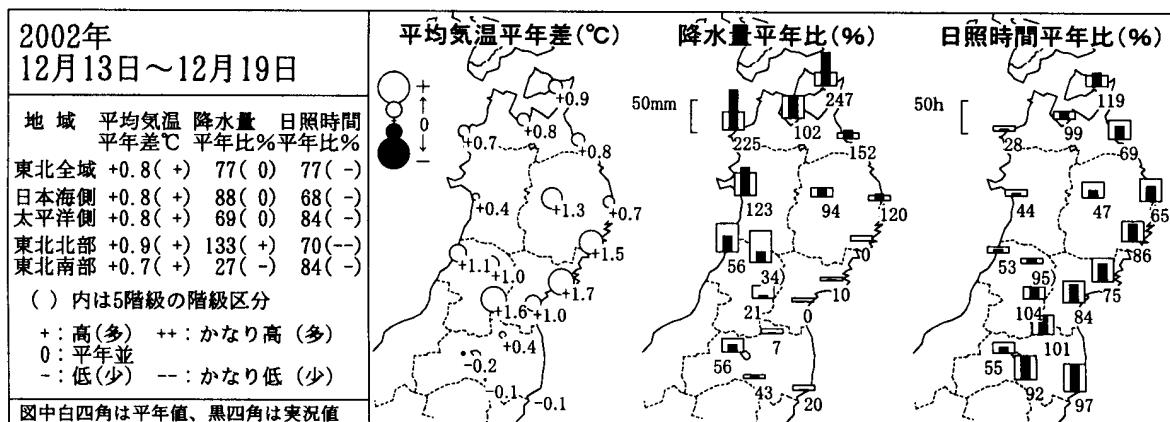
降水域は一部東北日本海側にもかかっているが、日本の南岸を進む低気圧に対応した降水域が、日本の南海上を東西に広がる。

週別（図略）では、2 週目は等圧線の間隔は開いて、冬型が緩む日がある見込み。その他の週は、おおむね月平均と同様の気圧配置となる。

### 4. 最近 1 週間（12月13日～12月19日）の天候の経過

16～17日にかけて、低気圧が発達しながら東北地方を通過したため、各地で荒れた天気となった。また、18日にも寒冷前線が東北地方を通過した。その他の日は冬型の気圧配置となって、東北日本海側では曇りや雨または雪、東北太平洋側では南部を中心に晴れとなった。

平均気温は、東北地方で平年差+0.8℃と高かった。降水量は、東北北部で平年比133%と多く、東北南部で平年比27%と少なかった。日照時間は、東北北部で平年比70%とかなり少なく、東北南部で平年比84%と少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）